



海の子

1月号
令和5年1月27日
式根島学園式根島小学校
校長

考えを広げる・深める

校長

新年明けましておめでとうございます。

令和四年がスタートしました。昨年も干支の話を記載させていただきましたが、今年も十二支でいうと「卯年」（うさぎ年）です。

うさぎ年は芽を出した植物が目に見えて大きく成長する年だそうです。また、うさぎは飛び跳ねることから、飛躍する年といった縁起の良い意味があるようです。うさぎ年にあやかって、子供たち一人一人が大きく成長し、飛躍する年であってほしいと願っています。

さて、本校では今年度の校内研修会で『「考えを広げる・深める」ことができる児童の育成』というテーマで取り組んでいます。児童の理解や思考力を高めるためには対話によって考えを広げ、深めることはとても重要なことですが、少人数学級では難しい面があります。そこで、児童の個の特性に応じた指導方法を工夫することが大切であると考え、本校独自の教育モデルの開発や個別最適化された学びの探求を実践し、児童の育成につなげて行きたいと、2人の講師の先生をお招きし、教員と児童の両輪で取り組んでいます。

< 2月の予定 >

1日	水	マラソン大会前健診
3日	金	小中合同マラソン大会
8日	水	委員会活動
10日	金	漢字検定
15日	水	クラブ活動
20日	月	保護者会 1・2年
21日	火	保護者会 3・4年
24日	金	4時間授業（村一貫研究会のため）
27日	月	保護者会 5・6年

【正月飾り作り】

12月22日（木）の3・4時間目に、ゲストティーチャーとして井上恵市さんをお招きして、正月飾り作り体験を行いました。

手を水で濡らし、藁を手の平でこするようにしてしっかり繕り、バラバラだった藁を縄にしていきます。縄を乾かした後、式根島で採れるユズリハなどを紐で括り付けて完成です。自転車や車に飾ることで事故から守ってくれます。

毎年恒例の行事であるため、何度も作った経験のある子供たちが多く、慣れていない年下の子に教える頼もしい姿が見られました。島の伝統文化が脈々と子供たちに引き継がれています。

正月参観

今年も1月16日（金）の沖山止の日に正月参観を実施しました。

1、2時間目に体験教育ファシリテーター・臨床心理士の佐藤順子先生を講師にお迎えして全校活動を行いました。初めに、佐藤先生から一人だけで楽しむのではなく、みんなで楽しもうというお話がありました。その通りに、1時間目は、餃子じゃんけんやバナナ鬼などで、各学年が交じり合ってみんなで楽しむ姿がありました。2時間目からは保護者の方も参加し、自然と年齢に関係なく力を合わせ活動する様子が見られました。最後の締め掛け声「式小、イエイ！」で、参加した全員の心が一つになりました。

3時間目は、打って変わり静かに集中して書き初めに取り組みました。1、2年生は自分で決めた言葉を、3年生以上はお手本を見ながら、心を込めて書きました。書き初め作品は、地区作品展式根島会場にて展示されます。ぜひ、御覧ください。

お忙しい中、御参観いただきました保護者の皆様ありがとうございました。



連携授業

今月は、音楽の授業を紹介します。3～6年生の担当は、今年度赴任された、式根島中学校の音楽科の先生です。今年度は、3・4年生は合同で行い、5・6年生は各学年で行っています。

子供たちへの声掛けがいつもの的確でテンポよく授業が進み、子供たちはやる気に満ち溢れ、授業にとっても集中して取り組んでいます。卒業式に向けて、5・6年生の合唱の指導にも熱が入ります。子供たちのこれからの成長に期待しています。

